

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	腱板断裂術後の疼痛管理 NSAIDs、ブプレノルフィン、デュロキセチンを用いた検討
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	金沢医科大学病院 整形外科 相馬 大輔
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2020年12月
対象者	2015年3月~2020年3月までの間に、当院整形外科で肩腱板断裂に対して手術を受けられ、ロキソニン錠、ノルスパンテープ、サインバルタカプセルを投与された方。
当該研究の意義・目的	腱板断裂手術後は疼痛コントロールが困難なことが多く、今回、術後または術前から投与した薬剤の除痛効果について、患者さんの視覚的な痛みの尺度を用いて評価することで、今後の術後疼痛管理の向上に繋げることです。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は、腱板断裂術後の除痛程度を視覚的な痛みの尺度を用いて評価し、得られたデータから疼痛抑制効果を解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。電子カルテにより、上記期間中に得られた情報を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 情報：病歴、年齢、性別、薬剤の種類、薬剤の除痛程度、副作用の発生状況、カルテ番号
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 整形外科 相馬大輔 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：076-286-3511（2211）内線3214

作成日（修正）： 2020年4月9日